

FEDERICO FELLINI

L città delle donne

失なわれた愛を求めて
女の都をめぐる巨大な夜のタイムマシーン
女の都は
やさしい母の都
甘い恋人の都
残酷な魔女の都
巨大な愛のふた



フェデリコ・フェリーニ
監督作品

マルチェロ・マストロヤンニ

アンナ・ブルクナル
バーニス・ステガース
エットレ・マンニ
ドナテッラ・ダミアニ

脚本ベルナルディーノ・ザツボーニ
フェデリコ・フェリーニ

脚本協力フルネッロ・ロンティ
撮影ジュゼッペ・ロトゥンノ

音楽ルイス・バカロフ
(オリジナル・サウンド・トラック SMSレコード)

製作フランコ・ロッセリーニ

OPERA FILM PRODUZIONE (ローマ)
+ GAUMONT (パリ) 製作
カラー (フランス・イタリア合作)

1980年
カンヌ国際映画祭
特別招待作品
昭和56年度
芸術祭参加作品



パウ・シリーズ作品
フランス映画社提供

女の都



女の都 *La città delle donne*

女性はエロスのユートピア「女の都」
女性はすべてだ映画そのものが女性だフェデリコ・フェリーニ



人がふと夢をみて、どこでも好きなところにはこんでくれるというタイムマシーンみたいなものに乗ったとしたら、どこへ行くというだろうか。それは言うまでもなく「女の都」だというのが、フェデリコ・フェリーニとマルチェロ・マストロヤンニの答であり、この映画の題名である。

タイムマシーンが行きつく過去や未来のステーションで、それこそ夢のような美女があらわれての甘い恋の数々。といけばよいが、巨匠フェリーニが描く過去や未来は、現実非常に近かったりするので、主演のマストロヤンニも、美男ぶつてのんきに構えてはいられない。

最初はよかった。超ボインの美女をくどいて強烈なキスに見舞われた。そこで汽車を降りて彼女を追いかけて不思議なホテルに迷いこんだのも悪くなかった。なにしろ、女、女、また女で、こんなに多勢の女性のなかにまぎれこんだのは、スナボラツ（マストロヤンニの役名）生れて初めての体験でゴキゲンだ。どうやらウーマン・リブの国際集会のなかにまぎれこんだらしいのだが、もともと女性が好きでフェミニストとして自信のあるスナボラツは、まさか、女性たちの男に対する思いが本当に憎悪にこりかたまるとは思わず、まさか自分が、その憎つき男の見本として糾弾

甘い爆笑の渦に湧いたカンヌ映画祭「女の都」は巨匠フェリーニの第18作で、80年代の第1作。主演は「8½」いらい17年ぶりのマルチェロ・マストロヤンニとあつて、カンヌ映画祭への特別招待参加が決まった時から最大の期待を集めた。もちろんコンクールの審査の対象としない（過去に「甘い生活」でカンヌのグランプリを受賞している）特別あつかいの参加なので、賞の興味はないのに、フェリーニ作品で、しかもマストロヤンニ主演となると、グランプリどころの騒ぎではなく、映画祭のすべての話題と期待をさらってしまうのである。あの、映画の極限をきわめた「8½」から、さらにどこに進むのかという前衛芸術的な期待。だが「女の都」は、そ



の矢おもてに立たされるとは思わなかった！そこを救ってくれたんだか、死刑台に押しやってくれたんだかわからない不思議な美女ドナテッラの出現で、次なるご対面は奇怪なオートバイのばあちゃん。に、危く強姦？！されかけのピンチを逃れて、パンク・ファッションの少女達の車に乗せてもらったら、この少女達のなんと残酷なこと！

たびかきなるピンチを脱して逃げこんだ豪邸からあらわれたのは、巨根博士と名のる大男！

監督.....フェデリコ・フェリーニ
脚本.....ベルナルディーノ・ザッポリーニ
脚本協力.....ブルネッロ・ロンディ
撮影.....ジュゼッペ・ロトゥンノ
音楽.....ルイス・バカロフ
(オリジナル・サントラ盤 SMSレコード)
美術.....ダンテ・フェレティ
衣裳.....ガブリエラ・ベスクッチ
製作.....フランコ・ロッセリーニ
スナボラツ.....マルチェロ・マストロヤンニ
その妻エレナ.....アンナ・ブルクナル
汽車の女.....バーニス・ステガーズ
巨根博士カツォーネ.....エットレ・マンニ
ドナテッラ.....ドナテッラ・ダミアニ
踊り子.....サラ・タフォーリ
OPERA FILM PRODUZIONE (ローマ) + GAUMONT (パリ)
製作 1980年作品
イタリア・フランス合作 カラー ヴィスタサイズ 2時間19分
8巻3,811m
1980年カンヌ国際映画祭特別招待作品
昭和56年度芸術祭参加作品

んなおカタイ期待はさらにとかわして、全篇が、ラテン特有の陽気なエロスの笑いの連続。奔放な俗語使用と性表現で、いささかヒンシュクを買う場面まであるが、80年カンヌ映画祭のおおらかな話題を一手にさらってしまった。2663人の女性！チネチッタの総力！この映画はさらに、フランスの大手ゴーモンが大型出資した久々の仏伊合作超大作。後半の夢のすべり台はチネチッタ撮影所のオーブン・スタジオに建設されたほんもので、この美術費だけでふつうのヨーロッパ映画が案いしけるという豪華さ。10分余のすばらしいシーンの連続はあつたという間で惜しい程。すべり台の他、映画の大半はチネチッタの第5ステージの中の撮影で、というところ、映画をご覧になればまさかと思われるだろうが、巨根博士の博物館や、女性法廷はもちろんのこと、列車も、海も、ヒコキもチネチッタがつくりだし、さらに、全篇で2663人の女性を登場させる。これはチネチッタの近年の記録だという。

新春ロードショー！
特別鑑賞券発売中！

伊勢丹前シネ・タウン
新宿 **ビレッジ2**
連日 11:00 1:30 4:10 6:45 *12月31日の最終回は休映

特別鑑賞券1200円
(一般1500円/学生1300円)の処)

劇場窓口他、都内各プレイガイドでお求め下さい。グループ鑑賞のお申込みは劇場または㈱メイジャー(541)2508へ。